



橋の子だより

橋の木のように 深く根を張り 幹太く 枝葉豊かな人

No.5 文責：教頭

須坂市立小山小学校

2学期（85日間）の充実を（8月22日始業式の校長講話より抜粋）

「3つのお願い」守れたかな



- ①事故・病気・ケガに気をつける
(自転車のヘルメット着用・コロナウイルス
かんせんよぼう)
- ②長い夏休み、興味・関心のあることやりたい
ことを一つきめ、とことん続ける
- ③夏休み中、「ゲームやインターネットを
使うときのルール」をきちんと決めて、規
則正しく生活する

1ヶ月に渡る長い夏休みが終わり、今日から2学期です。長い夏休み、楽しく生活できましたか？夏休み前にお話をした3つのお願いは守れましたか？

さて、2学期の始めに当たり、今日は②

にかかわるお話をします。

この花は何でしょう。



1年生が育てたお花の写真です。

アサガオですね。皆さんは、一度はアサガオを育てた経験があると思います。アサガオの花はいつ咲くのでしょうか。

「アサガオの花はいつ開花するのだろうか」という素朴な疑問をもった中学1年生のS子さんがいました。最初は朝早く起きて、アサガオの開花する瞬間を観察しようとしてしました。しかし、いくら朝早く起きてもアサガオの花はすでに咲いていました。次に夜中に起きてベランダの花を観察すると、真っ暗な中で花が咲いていたのです。S子さんはびっくりしました。

S子さんには、新しい疑問が出てきました。「アサガオの花は、朝になると咲くとばかり思っていたのに、なぜ、夜から咲き始めるのだろうか？」そこで、次の日にはベランダにあったアサガオを部屋に持ち込んで、花が咲く瞬間を眠気をこらえて待ってみました。ところが、その日は朝になっても花が咲きません。前日は暗いうちに花が咲いていた同じアサガオです。

「何か原因があるのではないかと、S子さんには更に新しい疑問が出てきました。S子さんはこれまでの違いを考えました。前日は暗いベランダにあったアサガオ。この日は蛍光灯の明るい光の下に置いたアサガオ。

そこまで考えたとき、「アサガオの花が開花するためには真っ暗な時間が必要なのではないか」という考えが浮かんできました。それからS子さんは毎日毎日アサガオの観察を続けました。その結果、「アサガオの花は朝明るくなるかどうかに関係なく、日が沈んでから10時間後に開花する」ということを発見しました。

S子さんの研究は、つぼみの中に太陽が沈ん

新しいぎもん

アサガオの花は、朝になると咲くとばかり思っていたのに、なぜ、夜から咲き始めるのだろうか？

○朝まで眠らず、ベランダから部屋に入れて、カメラでとろうとした
→前日は暗いうちに花が咲いていた同じアサガオなのに。その日は何時になっても咲かず、つぼみのまま。

原因はこれかもしれない

アサガオの花が咲くには、真っ暗な時間が必要なのではないか。

○毎晩、アサガオの観察を続けた結果

→アサガオの花は朝かどうかには関係なく、太陽がしずんでから10時間後に咲くことを見つけた

だことが分かるセンサー、夜を感じるセンサー、時間を計る体内時計が備わっていることが分かる大発見でした。S子さんは、この中学1年生の時の夏休みの自由研究がきっかけとなって、アサガオの研究を一生の仕事にしたいと考えるようになりました。その後、京都大学大学院で研究を続け、農学博士となり、アサガオの研究の第一人者となりました。中学1年生の夏休みにふと疑問に思ったことが、一生の仕事になったというお話です。

現在放送中のNHKの朝の連続テレビ小説「らんまん」の主人公牧野万太郎のモデルとなった**植物学者・牧野富太郎**博士もその一人です。幼少から植物に興味をもち、独学で植物の知識を身につけていきました。自ら創刊に携わった「植物学雑誌」に、新種ヤマトグサを発表し、日本人として国内で初めて新種に学名をつけました。94年の生涯において収集した標本は約40万枚といわれ、蔵書は約4万5千冊を数えます。新種や新品種など約1500種類以上の植物を命名し、日本植物分類学の基礎を築いた一人として知られています。小山小学校にも、牧野富太郎博士が書いた植物図鑑があります。是非見てください。

小山小学校で今年大切にしている目標の一つに、学び合い（考えることを楽しむ授業づくり）があります。その中で、探求的な学習、問いのある授業をみんなで作っていこうと取り組んでいます。2学期は、学びを実らせる学期です。S子さんのように、授業や生活の中で、疑問に思ったこと、知りたくなかったことはどんどん先生や友だちに聞いたり、本を読んだりタブレットで調べたりしながら自分の疑問を解決していきましょう。小山小の皆さんならきっとやれるはずですよ。

学び合い
(考えることを楽しむ授業づくり)

1 体験を通して体全体で考える探求的な学習
・英語学習の充実(高校生や海外の小学校との交流)
・駄電公園をフィールドとした本校ならではの学習

2 問いのある授業
・「なぜ、どうして」の問いから始まる授業の立ち上がり
(全ての子どもを同じ土俵にのせる)と学び合い
・コの字型、グループ学習

3 つまずきに応じた学習支援
・その子に合った方法を一緒に見つける支援

2学期は85日間あります。新たに3年生1名、5年生1名が新しいお友だちとして転入し、全校357名でスタートしました。

2学期は、たくさんの行事、学習の場があります。150周年記念音楽会、とちのこ祭、遠足・社会見学、マラソン週間……。6年生は、卒業に向けて、修学旅行、後期児童会、勉強・運動、生活……。すべてのことを探求して実りのある2学期にしてください。

皆さんの力は必ず伸びますよ。

<保護者の皆様へ>

熱中症対策について

暑さのため、熱中症警戒アラートが発出される日が続いております。熱中症対策として、本校では次のような対応をしております。

- ・早めのエアコンの使用
- ・体育の授業や休み時間の体育館・校庭の使用制限
- ・こまめな水分補給の指示（スポーツドリンク可）

この他、登下校時の帽子の着用等、ご家庭でもお声がけください。

職員研修について

夏休み中、職員研修を行いました。子どもたちの学びが充実するよう大学の先生に算数の授業づくりについて学んだり、県教委の指導主事先生からICTの活用について勉強したりしました。また、非違行為防止研修として飲酒運転防止について学び合い、意見交換をしました。今後も、子どもたちの笑顔のために職員研修を充実させていきます。